

保守管理に関する対応の状況について

2017年10月5日に説明した『埋設事業部における「事業者対応方針」を受けた対応方針について』のうち、保守管理に関する対応の状況について報告する。

1. 保守管理に関する対応

(1) 全設備確認および保守管理の計画の見直し

- ・全設備確認の準備作業として、設計図書の確認を実施中である。
- ・再処理施設での全数把握に係るトライアルに参加し、それを参考に、全設備確認に係る計画を策定中である。(計画の策定 10月下旬頃)
- ・最初のステップとして、埋設施設の特徴を踏まえた設備を代表モデルに選定してトライアルを実施し、その後、本格的な確認作業を開始する。
- ・保守管理の計画の見直しにあたっては、全設備確認を通して長期未点検機器の再確認をするとともに、静的機器等を見る保全の視点に一部抜けがあったことおよび上記の活動を踏まえた課題の抽出を行ない、検討結果を反映し、各設備の保守管理の方法について再検討を行う。

(2) 日常点検、巡視・点検の改善

- ・委託仕様書で協力会社を含めたミーティングを実施するようにし、日常点検や巡視・点検の結果(故障につながる可能性等)を情報共有している。今後も、継続して実施する。
- ・2号埋設クレーン走行用レールの不具合事象の教訓を踏まえ、設備の保全状態をより確実に捉える視点で塗装の剥がれや錆びの発生状況を確認し、補修等が必要な場合は速やかに計画を立案し実施することを手順等に反映する。(10月下旬頃)
- ・埋設クレーンの錆びの発生状況の確認中であり、その結果を基に、計画的な保全対応を検討する。(適宜)

2. 概略スケジュール

今後の全設備確認に関する概略スケジュールは以下のとおり。

ただし、トライアルの実施結果等により見直しを実施する。

主な対応項目	10月		11月		12月	
①準備						
・現場確認方法の検討等	—			▽計画策定		
・トライアル			—			
②全設備確認						
・確認作業				—	-----	
③保守管理の計画の見直し						
・長期未点検機器の再確認				—	-----	
・課題の抽出				—	-----	
・保守管理の方法の再検討					—	-----

以上